

令和2年度 第1回豊明市障害者地域自立支援協議会 次第

令和3年3月15日（火）

午後1時30分～午後3時

豊明市役所 新館1階 会議室4

1 会長あいさつ

加藤会長より挨拶

2 議 事（報告事項）

議題1 障がい者相談支援事業の実績について

事務局より資料1に基づき説明する。

議題2 障がい児相談支援事業の実績について

事務局より資料2に基づき説明する。

議題3 新型コロナウイルスに関する現状報告について

事務局より資料3に基づき説明する。

議題4 豊明市障害福祉計画について

事務局より資料4に基づき説明する。

議題5 各部会報告について

事務局より資料5に基づき説明する。

議題6 障がい者差別の解消について

事務局より資料6に基づき説明する。

3 議 事（議決事項）

議題7 地域生活支援拠点整備と協議会運営について

→賛成多数のため、議決された。

議題8 保健・医療・福祉関係者による協議の場について

→賛成多数のため、議決された。

【議題1 質疑・意見等】

特になし

【議題2 質疑・意見等】

委員：居宅型発達支援事業についてもう少し具体的に聞きたい。

事務局：居宅訪問型の新しい事業となります。発達障害をお持ちで医療ケアが必要なお子さんは、外出が難しかったりするため、自宅に訪問する形で療育の訓練を施す事業を立ち上げています。

事務局：今年度から新しく立ち上げた事業所で、看護師も同行する形で訪問を行い医療的ケア児に対する発達支援を行えるようになっております。

【議題3 質疑・意見等】

事務局：補足です。市としては、障害児者の生活をそのまま維持できることを重要視しております。まず、事業所側が運営できるように、在宅型支援等の特例給付を認める形でサポートしています。また、各事業所に対するサービス費給付事業も行っております。今後も、コロナ禍が続いていく中で、通常通り事業を継続できるようなサポート体制を整えていきたいと考えています。今年度の市の補正予算のほとんどは、このコロナ禍に対応するための、予算措置です。次のクラスター対策、障がい児者の暮らしへのサポートを行うよう努めて参ります。

事務局：他市町の比較といたしまして、豊明市は在宅への支援は充分施されていると感じています。また、他市町では、医療的ケアの必要な障がい児者のご家族がコロナに感染した際のサポートをどう行っていくべきかという課題があったりします。支援者や利用者がコロナに感染した際は、どのように在宅支援を回していくかという考え方もあり、事業所間の横の連携も大事であると感じております。

【議題4 審議・意見等】

特になし

【議題5 質疑・意見等】

特になし

【議題6 質疑・意見等】

特になし

【議題7 質疑・意見等】

特になし

【議題8 質疑・意見等】

委員：概要や目的は何となくわかるが、全体的なスケジュールリング等が見えにくい。

事務局：就労を切り口にした事業と言いましたが、あくまで案の段階です。今後、各事業が発案された際には、事業ごとにスケジュールリングを行い、年2回の協議会の場にて発表する予定です。

【出席者等】

出席委員 11名

事務局 尾張東部圏域相談支援地域アドバイザー
障害児相談支援委託相談員
豊明市障がい者基幹相談支援センターフィット（3名）
健康福祉部長、社会福祉課長、子育て支援課長
社会福祉課（課長、課長補佐、主査）、
子育て支援課（課長、担当係長）

傍 聴 なし

以上